



にこにこ笑顔のBくん  
(知的遅れ・自閉症)が  
今年は機嫌がわるい・・・

言葉がないBくん。

昨年までの姿：家では兄弟でもものの取り合いでケンカ。  
でも、学校や放課後デイでお友達ともめることはなく、  
いつも機嫌良く過ごす。

今年、放課後デイでよく泣くという。

また、職員や母をかんだり、でも、お友達にはしない  
母が困る行動を頻繁に。うんこを手で・・・

不安定？疲れているの？

Bくんの思いは？願いは？・・・

困る行動をどうしたらいい？

# わざと大人の困ることをする その理由は？

Bくんは人と関わりたいというコミュニケーションの要求が高まっている  
相手の反応を期待して、行動を起こす  
共感したり、楽しいことをともにする関係ならいいけれど、  
困らす行動する→怒られる→関わってもらえた実感→困らす行動

「じょうずーへた」と人と比べる認識の発達のところも  
注意喚起の行動が再び現れることがある。  
本当はカッコいい自分を認められたい、でも、そうならない自分がわかる

その対応は・・・  
叱るだけでは、解決しない！！

Bくんと、楽しい気持ちで心を通い合わせる取り組みを

**Bくんの個別支援計画は？  どんな活動を保障したらいい？**

# 自我の発達

# 子どもの発達の道筋は同じ

できないからやめるではなく、  
苦手だけど練習してみようと思  
える心、0か100ではない世  
界、折り合いがつけられる力



①イヤイヤ!  
自分で!  
～ではなく、  
～がいい

②いっぱい!  
と独り占め。  
一番がいい!  
0か100、  
失敗はいや!

③大きい自分  
カッコイイ自分  
でありたい。  
出番がほしい!



(様々な情報から仮説を立てる)  
(職員集団そして保護者とも共有)



実践



モニタリング

障害や発達に遅れや心配がある子どもたちは  
「できない」ことを課題にされがち。  
できるようになるためにスキルを習得するための  
プログラムを用意する。  
でも、これが子ども自身の願いに沿っていないと、

## こどもの心を置き去りにしてしまう

弱さや遅れだけに視点をあてて練習する、  
訓練するやり方だけが先行してしまわないようにしたい。

子ども自身が「やってみよう」  
「みんなと一緒にやりたい」  
その願いをもち挑戦しようとする心を支える職員でありたい！

「させられる」ではなく、  
やりたくなる心へ ぐすぐる実践を

学校や保育園、幼稚園で「しなければならない」  
生活の時間がたくさんあるからこそ、

「ぼくがしてあげる」「一人でやりたい」

「自分で活動を決めたい」「好きなことをたっぷり！」

「みてて！」

そんなアピールがしたくなる

魅力的で、手応えが持てる活動を求めている。

# 本人だけでなく、家族支援を大事に

私たちが関われるのは限られた時間

親は長い付き合い だからこそ

保育園・幼稚園・療育・学校・学童保育・医療機関・福祉サービスいろんなところ  
とつながり、家族が一人で悩まなくていい地域にしたい。

お母さんが「困っている」「助けてほしい」「これはどこに相談したらいいの？」  
などを発信できる場所を。

こどもの出す姿を一緒に考え、考察、仮説をたてて提案、手立てを見つける場に。

不登校・単身家庭・ゲーム依存・虐待・保護者が発達障害・・・

コロナ禍で人との関わりがとっても薄くなっている。

そんな時代に家族が孤立しないように、

事業所を超えてつながり合う関係を

保育・教育・療育の実践を、親子を支える立場でつながり、お互いに高め合う視点を。



# 学童期 思春期を見守る放課後デイ

大人の～しなさい、～したらあかんに対して  
「うるさい！」と反抗的な言葉や態度、大人の言葉を無視する態度

大人が自分の気持ちをわかってくれない、干渉される、指示ばかりされる  
そんな関係性から、  
いらだちやパニック、こだわり  
不登校・ゲーム依存・暴力・自傷行為、チック、強迫神経症

そうしたことは障害があるなしに関わらず起きてくる  
障害がある子は大人に従順でなければならないのか？  
反抗は許されないのか？

♣ 中学2年（知的に遅れがない発達障害）

「私は〇〇（放課後デイ）が一番自分らしくいられる場所」という  
デイキャンプのパンフレットを作る役割

♣ 中学1年（ADHD、感覚過敏強い、予期しないことに不安）

小学校は高学年から不登校。

学習支援の放課後デイに通所するようになり、

家から出る時間が持てる。関係機関との連携後、

通級教室に通級が可能になり、週に2日通学できるようになる。

中学になって毎日短時間だが通学し始める。

「放課後デイに行かないとしんどくなる」という。

精神的なバランスを求める

♣ 中学1年（自閉症スペクトラム）

母への暴力、自分の思いと相手の思いが違う時、

暴言。家や放課後デイでパニックが頻繁。

でも、後で自分のやったことに後悔して落ち込む。

学校では大人の求める自分を頑張る。

2022年 夏の研修会から

☆ だいじょうぶ ぼくのペースで育つから

☆ さっとできれば くろうしないよ

☆ 違うでしょ！あかんでしょ！ばかりいわんといて

